

により、地方創生のテーマである人口減少の歯止めにする資する事となり、地域で女性が活躍する環境づくりに繋がり、地域活性化の推進が実現できるものだと思います。

昨年の暮れから奄美地域に「ドクターヘリ」の運航が始まりました。従来は沖縄県が運行しているドクターヘリ並びに那覇市駐屯の陸上自衛隊のヘリを利用していましたが、今後は救急救命センターの県立大島病院を拠点に奄美地域内の急患搬送の任務を担うこととなります。なお、沖縄良部地域の急患搬送については、状況によって従来どおりの沖縄県への搬送も可能であります。

この様に保健・福祉・医療に関する施策は幅が広く、その施策の拡充は多くの課題もありますので、町としても国や県の諸施策と連携しながら、町民の保健・福祉・医療の充実に向けた取り組みに努めたいと思います。

給食センターの建て替えによる

児童生徒の食育の充実

教育の振興と教育施設の整備

近

年、公立小中学校でいじめ問題や学力調査、教科書採択問題等が発生し、教育委員会制度の見直しが議論された事を踏まえ、27年度から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、新制度の下で新しい教育委員会体制がスタートいたしました。

今回の改正で、市町村長の権限が強化されましたので、改正の経緯や趣旨を踏まえながら教育委員会並びに教育長と緊密な連携を図り、本町の教育行政の活性化並びに教育の振興・拡充に努める決意であります。

前年度で学校関係施設の整備も概ね終了しましたが、上城・下平川・田皆小学校屋体の改修が残っており、これらの施設の改修に年次的に取り組むと共に、老朽化が著しい学校給食センターの建て替えは急務であり、本年度から時代のニーズに合った整備を進



国立公園化で交流人口の拡大を図り

地域を活性化

め、児童生徒の食育の充実に努めます。

地域間交流の促進による地域活性化

奄

美群島振興交付金により、航路・航空路運賃軽減の実現で郡島民の経済的負担の軽減や、奄美群島交流需要喚起対策事業での群島域への入り込み客の増加等で地域経済の活性化に大きく寄与いたしました。

本年度も引き続き振興交付金の活用で地域間交流の促進に努めると共に、来る3月には念願の「国立公園」指定も実現いたし、これを前提とした奄美群島（奄美大島及び徳之島）の「世界自然遺産」登録も来年度中に予定されており、琉球弧が一体となって世界の注目を浴びる事となります。

本町でもこうした千載一遇のチャンスとして捉え、自然環境の保全や観光地の整備、観光客の誘致や受入体制の充実、交通・運輸機

関との連携等に取り組み、特に沖永良部・沖縄間の航空路線開設に向けた要望活動を継続的に展開する必要があります。このことにより交流人口の拡大が図られ、地域の活性化に繋がるものだと思います。

以上、各項目の概略を述べましたが、これらの事業の円滑な執行が図られるよう万全の体制で臨むと共に、国並びに県・関係機関とも緊密な連携を図りながら、フローラル知名のテーマである「花ひらく・夢ひらく町」として、豊かで・明るく・住みよい町づくりに努め、地域の活性化・振興に取り組む決意であります。

結びに当たって、29年度も引き続き議会をはじめ関係機関はもとより、町民の御理解と御協力をお願いいたし、厳しい行財政の環境にありつつも、次なる新たな発展のために最大限の努力を傾注したいと決意を新たにいたしますとあります。